

チャンスを分かち 未来を拓こう

ひゅ〜まん

北部ハーモニープラザ通信

発行：秋田県北部男女共同参画センター
北部ハーモニープラザ
〒017-0842 秋田県大館市字馬喰町48-1
☎0186-49-8552 FAX：0186-49-8589
E-mail：angec1@io.ocn.ne.jp
URL：<http://www.akita-kenmin.jp/h-danjo/>

No.99 《平成24年1月発行》

女性の活躍で地域に活力を！！

あきたF・F推進員 山田 博康

昨年の東日本大震災を始めとする全国各地で発生した自然災害は記憶から消えることのない大惨事であり、どんなに科学が進歩しても大自然の脅威の前で人間は何と無力な存在であるかを強烈に認識させられた年ではなかったでしょうか。

東北の太平洋岸は津波被害に追い打ちを掛けるかのように福島第一原子力発電所の災害は全世界が注目する事故となり、もうすぐ1年が来ようとしても自分の故郷に帰ることのできない生活を強いられている人達のことを思う時、何も出来ないやりきれなさを覚える。自然災害のない穏やかな年であって欲しいという願いを込めて復旧復興元年にしようと思えた新しい年も、連日の降雪に私の生活する阿仁地区では家が雪に埋もれてしまいそうになっています。当地区は典型的な少子高齢化の地域で高齢者のみの世帯が年ごとに増加し、その様な人達の安全・安心をいかに守っていくかということは地域の重要課題であり、行政のみ頼ってばかりという事ではなく、被災地の人達が厳しい状況の中で明るく力強く生きている姿から、私達も学ばねばなりません。地域の人達が共同で支え合う仕組みを創らねばならないのです。震災時、全世界のマスコミが壊滅的被害を受け肉親を失ったり、行方不明という極限状況の中にあっても、整然として救護を受ける日本人の国民性の素晴らしさを高く評価してくれたといいますが、津波によって発生したガレキは20年から30年をかけないと被災自治体だけでは処理できないと言われており、放射能に汚染された物であれば引き受けにあたって抵抗されるのは理解できるのですが、隣県のガレキ受け入れに対しても反対するという人間がいるということは全く悲しくそして寂しい限りであります。大きな被害を受けることのなかった私達秋田県人は被災地の復興に役立つ事であれば積極的な協力を率先して行うべきではないかと思えます。



団塊の最後の世代である私は、家が農家であったということもあって大家族の中で少年期を過ごしました。家族の中での役割分担というのはハッキリとしていました。そういう環境で成長した同世代の女性の仲間は仕事を持っていても、3食を作る家事作業を何の抵抗もなく今日まで継続してきています。それぞれが定年を迎える年齢になると子供達は独立して核家族となってしまっているのです。子供達若い世代は家事の役割分担はうまくいっているように見えます。これからは定年を迎える頃になったら家事の役割分担をして、夫に食事を自分一人でも作れるような訓練をしていかないと、妻に病気にでもなられたら大変な事になることを実感を通して夫に学ぶ習慣を植え付ける必要があるのではないのでしょうか？

定年後の地域社会との積極的な関わりの大切さをこのたびの震災は私達に教えてくれました。家計も国家財政も原理・原則にそれほどの違いなどないはずで、無関心は何事においても後退より生まれません。自分が生活する地域社会をいくらかでも楽しいものにするには他人任せではなく、一緒に活動する事です。

女性が元気を出すと地域が輝きます。地域の活性化のためにも家計を守って来た女性の感覚を積極的に取り入れ、その活動の輪を地域からさらに拡大する活動の中で本当の民主主義が定着する近道になると信じます。女性の皆様の奮起に大いに期待します。

募 集

〔ワーク・ライフ・バランスを実現するうえで、障害となっている規制・制度・運用等〕
についてのご意見、改善のためのご提案を募集しています

【募集目的】 内閣府においては、一昨年12月に閣議決定した第3次男女共同参画基本計画に基づき、男女共同参画社会づくりのための施策を推進しています。人口減少・高齢化が進み、経済が長期にわたり低迷する中、全員参加型の社会の実現を目指すためには、特に、ワーク・ライフ・バランスの実現が喫緊の課題です。このため、ご意見又は改善のためのご提案を広く募集しています。

※例えば、次のような点に関するもの

- ・就労による経済的自立（非正規労働者や母子家庭の母等の就労、社会的起業を通じた就業など）
- ・多様な働き方・生き方の選択（仕事と子育てや介護との両立の実現など）
- ・健康で豊かな生活のための時間の確保（長時間労働の抑制など）

●締め切り：平成24年1月26日(木) 消印有効

●提出要領：

(1) メールフォームを利用した提出（送信用フォームから、必要事項をご記入の上送信してください。）

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0085.html>

(2) 郵送での提出（別紙の様式に必要事項をご記入の上、郵送して下さい。）

〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1

内閣府男女共同参画局 意見・提案募集担当 宛て

※応募用紙は、秋田県北部男女共同センターにおいてあります。TEL/0186-49-85

※電話及びFAXによるご意見・ご提案は受付致しておりません

第2回

地域連携ネットワーク会議を開催します

- 日 時：2月22日（水）
- 時 間：13：30～15：30
- 場 所：北部男女共同参画センター
- 協議事項
 - ・地域の実践力アップ事業の実施状況と新年度の実施について
 - ・あきたF・F推進員・市町村とセンターの連携についての意見交換や情報交換等
- 対 象：
 - 県・市町村行政担当者・あきたF・F推進員・ハーモニーネット登録団体

平成23年度

第2回利用者懇談会を開催します

- 日 時：3月6日（火）
- 時 間：10：00～12：00
- 場 所：北部男女共同参画センター
- テーマ：「入館者数の目標達成に向けて」の意見交換等
- 対 象：県・あきたF・F推進員・ハーモニーネット登録団体

※センター利用について、ご意見ご要望等ありましたらお電話・FAXでも受け付けております。

・TEL/0186-49-8552

・FAX/0186-49-8589

今月の登録団体紹介コーナー



— 初 生 け —

ザ・いけばな

❖ 第1・2・4土曜日

❖ 13：30～15：30

ザ・いけばなは、数あるいけばなの流派の中で「池坊」を師事しています。池坊には、役枝(やくえだ)のある立花(りっか)や生花(しょうか)と、文字通り決まりを持たず自由にいける自由花という花形があるため、同じ花材を準備しても、まるで違った作品に仕上がるのが魅力でもあり楽しみでもあります。お花を觀賞しながらのおしゃべりも楽しみの一つ。肩に力の入らない、和気あいあいとしたサークルです。歴史と伝統を継承しつつ、心の癒しとなるお花に触れていきたいと思っています。興味のある方はぜひ、お出かけ下さい。（コメント：代表 富樫 宏子さん）